

第7期埼玉県障害者支援計画に盛り込む主な施策(案)

団体ヒアリングにおける意見より

No	施策番号	施策の内容	団体名	意見
1	新	市町村が行う代筆・代読者の派遣を支援し、視覚障害者のコミュニケーション手段の確保・充実を図ります。	障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会	・代筆・代読者派遣事業を創設すること。
2	新	児童生徒へのメンタルヘルスに関する教育を行うとともに、教職員のメンタルヘルスに関する理解を深め、児童生徒をケアする力を高めます。(※重点課題と同じ)	障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会	・低年齢で精神障害当事者になることもあるので、早期発見・早期治療に重要なのは本人・周囲の気づきであり、各学校において精神保健教育に取り組むこと。
3	新	重度障害者の地域移行を進めるため、重度障害者に対応可能なグループホームの整備を推進します。(※重点課題と同じ)	埼玉県障害者協議会	・重度障害者を受け入れるグループホームを増やしてください。また快適な生活環境が保障されるよう施設の実態を把握してください。
			埼玉県盲人福祉協会	・視覚障害者が地域で充実した生活をするにはグループホームを建設してください。
4	新	失語症者のコミュニケーション手段を確保するため、失語症者の意思疎通支援者の養成を行うとともに、派遣を行う市町村を支援します。	埼玉県高次脳機能障害連合会	・高次脳機能障害の方、失語症の方への意思疎通支援者派遣について計画に記して下さい。
5	新	発達障害児(者)との意思疎通において、言葉による表現と併せて視覚的表現によるコミュニケーションが大切であることを周知します。	埼玉県自閉症協会	・発達障害のある人たちのコミュニケーションの困難さの周知、言葉の説明と併せて目で見て分かるものがあると理解しやすいことの周知が必要。
6	新	障害児入所施設に入所する障害児等の移行調整のための協議の場を構築し、地域や障害者支援施設等への円滑な移行を進めます	埼玉県発達障害福祉協会	・障害児入所施設からの移行支援対象の受入態勢について協議の場で検討すべき。
7	新	専門的な相談や情報提供及び関係機関等との連絡調整などを行う医療的ケア児等支援センターを運営し、医療的ケアを必要とする障害児等とその家族が地域で安心して生活できるよう支援します。	埼玉県障害難病団体協議会	・医療的ケア児等支援センターの拡充。市役所、教育部門(教育委員会等)の連携強化。
			埼玉県発達障害福祉協会	・医療的ケアが必要な人が利用できる社会資源が少ない。